

奥武蔵飯能市上名栗 穴沢ボルダー Ver3.0

令和6年3月5日 RCT/K

穴沢ボルダーは、上名栗の森河原から天目指峠を越え南川に抜ける県道395号に沿った沢の中にあるボルダー群である。

トランスの載った電柱下のボルダーは、陽当たりが意外と良く、乾きやすかったため令和元年にトライしたのだが、上流や枝沢のボルダーについては、植林の中の湿った苔だらけの汚い岩ころで、横の沢の水量も多く下地が悪かったため全く対象にならないように見えたことから、その後未トライのままであった。しかし昨年末覗いてみると、乾いてコンディションも良く、川の水量も少なくなっていたため、下地を少し整備し、苔や泥、浮石を落としてトライしてみた。

岩質はチャートまたは硬砂岩のような感じで、一番大きなもので高さ4m程である。脆い部分もあるのでクラッシュパッドは必ず敷きたい。

アクセスはMAPの通りで、駐車場所には問題はない。アプローチはそれぞれの駐車スペース近くの沢の中なので至近距離である。

シーズンは秋から春の乾期で、雨の多い夏は植林帯で湿気が高い上にC岩から上流のボルダーや枝沢ボルダーは取り付きが川となってしまう可能性がある。



《課題紹介》

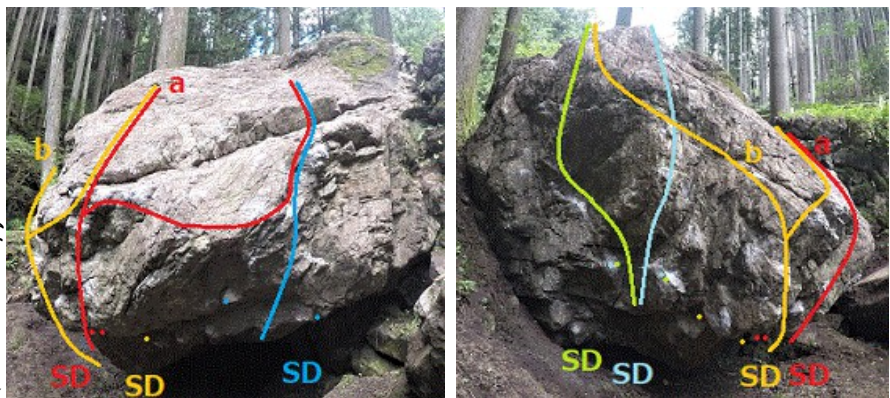
■トランス電柱下のボルダーエリア(令和元年に紹介したエリア)

●A岩

(トポ左:下流側 右:川側)
道路すぐ下の岩で、下がハンクしているが、ハンクを越えるとスラブになってしまうので、ちょっと物足りないのは否めない。それでもラインの取りようで長めの課題もトライできるので、いろいろと遊べる。

ムーヴ的には、黄緑、オレンジ、赤ラインが面白い。

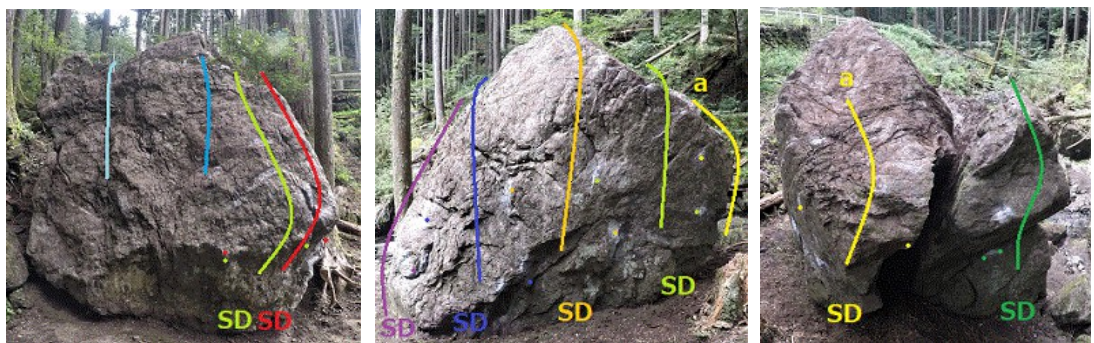
令和6年1月現在、上部に苔が付いているが、少し掃除すれば楽しめそう。



●B岩(トポ左:川側 中央:道路側 右:上流側)

川の横にある小さなボルダーで周囲に課題がある。

川側の黄緑と赤ラインがムーヴがあつて面白い。

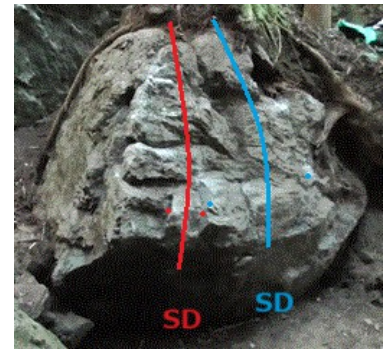


令和6年1月現在、全体的に苔が付いており、トライする場合は苔落としが大変そう。

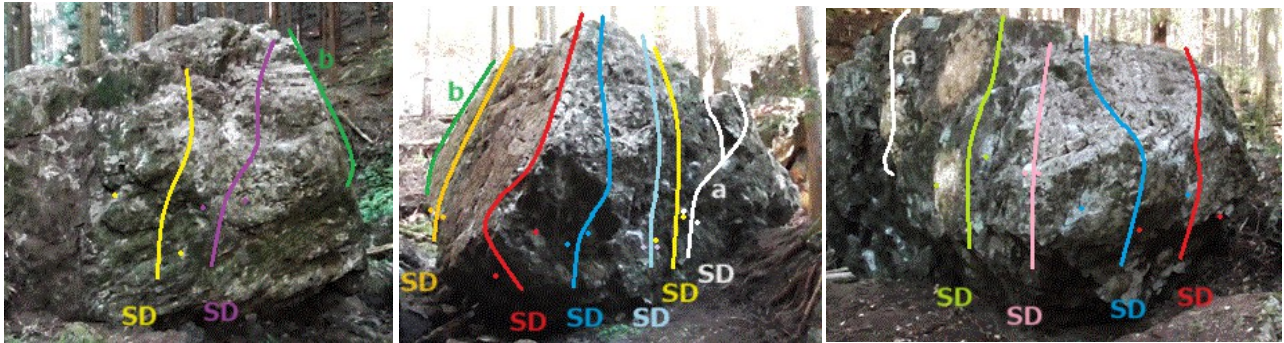
■上流エリア

●C岩

大きなD岩のすぐ下流にある小さな岩でSD課題が2本ある。



●D岩 (トポ左:上流側 中央:川側と下流側 右:道路側小ハンゲ)



上流ボルダー中最も大きなもので課題も多い。下流側は浮石が多く大分落としたが、トライ時に欠ける可能性があるので注意が必要である。

下流側の赤ラインは、左手ハンゲ内のアンダー、右手カンテ少し右のカチでスタート、左手でスラブ側のガバを取ってからカンテ沿いに上がっていく。

下流側の青ラインは、右手カチ、左手甘いホールドでスタート、1手目は斜めのカチを取る。実はこのホールドがトライ時に欠けてしまい取りにくくなってしまったが、何とか使える状態で残った。

道路側の赤ラインは、両手アンダースタートで、デッドでリップ上のホールドをとる。

●E岩

D岩の上流にあるスラブ状の岩。

SDスタートから小カチを取ったらスラブに這い上がって行く。



●F岩&G岩 (トポ左:F岩 中央:G岩下流側 右:G岩川側)



F岩は沢の底にあるので道路から見えなく分りにくいですが、G岩の30m程下流にある岩。

下がルーフなので出だしがパワフル。左側のアンダーSDスタートは未解決。

G岩はカーブの道路下の沢に見えるのですぐに分かる。

岩の高さはないが、リップ付近のホールドを使った右上、左上ラインが手数があって楽しめる。

赤と白ラインのスタートは左手は穴、右手は小カチ。赤ラインはオレンジラインスタート上のガバは不使用、最後は穴を使わず青ラインに合流して抜ける。

水色ラインは、リップ付近のホールドを使って左上し、最後はマントリング気味に抜ける。

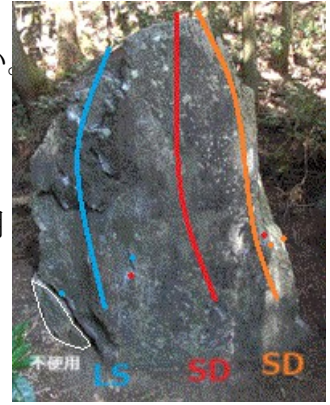
●H岩

車道上の涸沢の小さな岩で、駐車スペースから入って直ぐのところにあるのだが、灌木で見えにくい。2m強の小さなボルダーだが課題は面白い。

青ラインは、左手割れ目のアンダー、右手フェイスの縦カチで腰を下げた体勢からスタートし、左足トゥーフックでフェイスのカチをとるが、完全なSDスタートでは未解決。左のカンテのガバと左下割れ目から下は不使用の限定あり。

赤ラインは、左手フェイスのカチ、右手カンテでSDスタートしフェイスのホールドと右のカンテを挟むように使って上まで抜ける。

オレンジラインは、カンテと右のスラブ側のホールドを使い身体をカンテまたはカンテ左側に保ったままカンテ沿いに上がる。



■枝沢エリア

B岩の少し下流の右岸から入る枝沢にあるボルダーで、アプローチも近く、B岩から山の斜面をトラヴァースしていくとI岩がある。

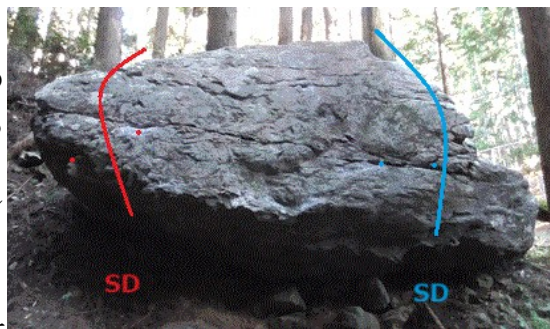
●I岩&J岩

(トポ左:I岩 右:J岩)

I岩は、横長の流線形の背の低い岩で左右の端に課題があるが、右のガバからクラックに沿ってトラヴァースして赤ラインから抜ける課題は未解決。

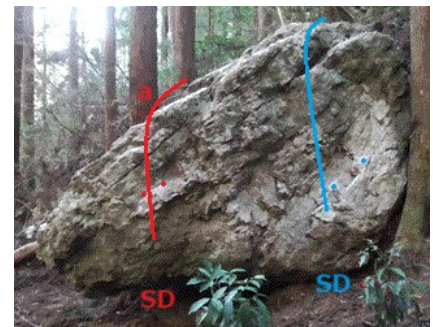
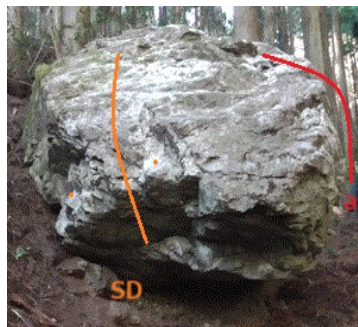
J岩は、沢に突き出したハングした岩で、下が土手になって

いるのでSDスタートはできない。スタートは少し下のホールドからしたかったができず未解決。



●K岩

J岩から少し斜面を上った所にある小さな上がスラブ状の岩。



●L岩

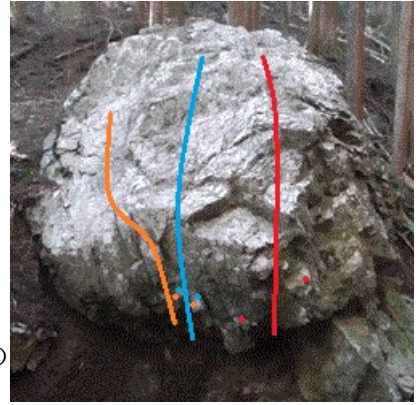
大きめの4m程の岩だが上は傾斜が落ちるので実質3m程。

下が土手状なのでSDスタートは難がある。下部が脆く浮石を落としたので多分大丈夫だが注意が必要。ホールドはガバが多いので課題は易しい。

赤ラインのスタートの右手は、さらに下から行きたかったが、できず未解決。

青ラインは、ガバからスタートで上部は快適。

オレンジラインは、青ラインとスタートは同じで左に出るがレッズのホールドが少し遠い。



●M岩

(トポ上:下流側 下左:上流側側 右下:沢側)

上に檜が生えた2.5mほどの岩で、周囲に易しい課題が沢山ある。

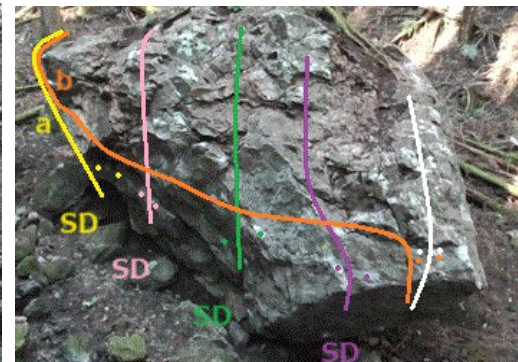
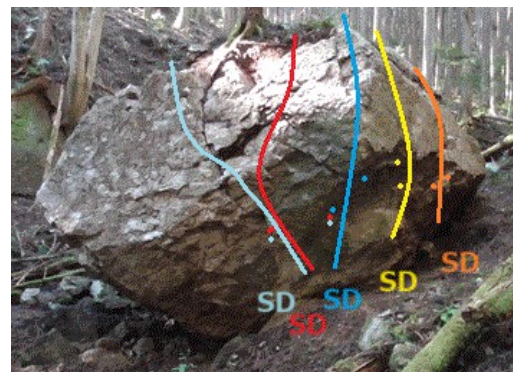
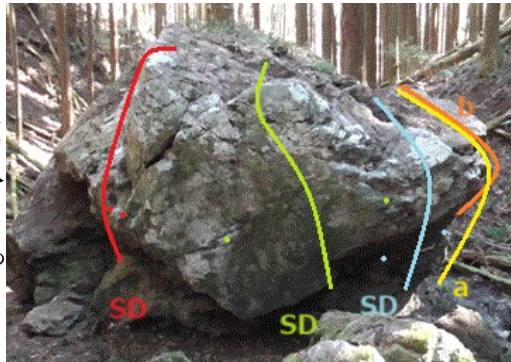
浮石が多くトライ中に何度も欠けたが、取り敢えず落としたので大丈夫と思われるが注意が必要。

下流側の青ラインのスタート右手は、リップすぐ下ではなく、もう一つ下のカチからスタートする。

黄色ラインのスタート左手は、リップ付近のアンダーホールド。

水色ラインは、真下から行きたかったができず、取り敢えず赤ラインから入る課題とした。

左側のハングから上のフェイスを登る課題は未解決。



沢側の紫ラインは、石に腰かけSDスタートし、一旦上のガバを取ってから少し左から回りこむように上に上がる。

オレンジラインは、白ラインのスタートホールドから左にトラヴァースして行き、紫ラインのカチホールドから緑ラインのフレーク状の小ホールドに移っていくが、上のガバは使用しない。最後は黄色ラインのガバを登って上に抜ける。手数があって長く、核心もあるので面白い。